令和７年10月19日（日曜日）

“ふるさとちば”のための政策推進を

滝田敏幸（たきた としゆき）県議会リポート

発　行／自由民主党千葉県議会議員会　〒260-0855　千葉市中央区市場町２番13号　電話 043（227）7411

21世紀以降最多質問回数37回目の登壇

NT駅前に巨大データセンター 県に建設計画の見解問う!!

印西地区史上初の県議会議長として活躍した滝田敏幸県議（印西市・栄町選出5期）は、9月定例県議会一般質問で37回目の登壇（21世紀以降最多質問回数）。「千葉ニュータウン中央駅前データセンター建設問題」では地元住民に寄り添う主張を展開するとともに、「都心直結線」「印旛児童相談所」「千葉北西連絡道路」ほか印西地域における県政の重要課題について緊迫した質疑が行われました。県議会議長を経験し、滝田県議は、県政の重鎮として存在感と影響力が確実に高まっています。

9月定例県議会一般質問

県の施策を質問する滝田敏幸県議

滝田委員　私の地元、印西市の北総鉄道千葉ニュータウン中央駅前にデータセンターが建設されようとしている件についてうかがう。

令和７年４月に突如、千葉ニュータウン中央駅前の一等地に、巨大なデータセンターが建設される計画が明らかになった。今回の件が、これまでと異なるのは、建設予定地が「街の顔」ともいうべき千葉ニュータウン中央駅の目の前だということだ。

私が調査したところ、この土地は、長く、主にタウンセンター地区の商業施設等の駐車場として活用されていた。民間企業同士の取引であり、法律的に規制を受ける取引でもなく、また、データセンターは、都市計画法上も規制できる用途ではない。

しかしながら、建設予定地は、駅前の一等地であり、既に周囲は商業施設が進出し、隣地には高層マンションも建設され、タウンセンターとしての機能が概成されており、更なる賑わいの向上を目指していたさ中での、突然の本事業の発表は、地域としては、到底、納得できるものではない。

まちの顔となる駅前のタウンセンター地区に今回のようなデータセンターが建設されることは、賑わいの創出や交流促進の面で超巨大なデッドスペースが生じるため、他に類例を見ない異形のまちづくりと言わざるを得ない。

印西市長あてに反対署名提出

千葉ニュータウン中央駅前データセンター建設予定地

現在、地元では、建設予定地周辺のマンションの住民を中心に「タウンセンター地区の活用について考える会」が結成され、事業の中止や建設場所の変更を求めて運動を展開している。印西市長あての反対署名運動も行われ、去る８月29日には、中間報告として、８４００筆を超える署名が市長に手渡されるとともに、市から事業者に対して、住民説明会を実施するよう指導することが要望された。

また、印西市議会では、こうした住民の声を受け、同日、データセンターと地域の共生を図るため、市民が納得できる都市計画のもと、各種法令に従いデータセンターは建設されるべきであるとして、タウンセンター地区等の駅周辺の地区を除いた場所に整備することを求める決議が可決された。

私は、データセンターに限らず、企業の進出にあたっては、事業者と近隣住民等の間で、事業による影響やその対応等について話し合いが行われ、双方の合意のもとで事業が進められることが重要だと考えている。

今回の件について、このまま住民と事業者の間で、信頼関係が構築されず、相互理解が進まないままに、建設工事が開始されるようなことになれば、地域の混乱は増す一方であり、そうした事態は何としても避けなければならない。

【２面へ続く】

●県政と印西市・栄町に関するご相談・ご要望をお気軽にお寄せください。

たきた敏幸事務所
〒270-1326　印西市木下1521-125 2F　TEL.0476(37)4173

住民と事業者の協議実現を

滝田議員　県が今回の件に直接関係しないことは重々承知しておりますが、そうした思いから質問させていただく。

千葉ニュータウンのまちづくりを担ってきた県として、千葉ニュータウン中央駅前にデータセンターが建設されることについて、どう考えるか。

企業局長　データセンターの建設が予定されている、千葉ニュータウン中央駅前の土地については、民間事業者から当該データセンター事業者に信託受益権が譲渡されたものであり、この土地にデータセンターを建設することについても法的な問題はないところです。

一方で、まちづくりは、地域の理解と協力を得て進めていくことが重要であり、企業の立地は、地元市や地域住民との信頼関係のもとで進められることが大切と考えております。

県としましては、データセンター事業者に対し、この土地の活用方法について意見を申し上げられる立場にはございませんが、印西市や地域住民と事業者が対話を進めて、問題の解決を目指していくことについては、出来る限りの協力をしていきたいと考えております。

要望

滝田議員　印西市の主導・関与のもと、住民と事業者が同じ協議のテーブルについて、現実的な協議が進められるよう、県としても、最大限の協力をするよう強く要望する。

さらに、地元では、今回の土地の売主である、URと県によって設立された第３セクターが、タウンセンター地区の駅前に保有する、同様の土地１・５ヘクタールをデータセンター事業者に、また売却しようとしているのではないかという危機感が高まっている。

この点についても、当該事業者に対し、地元市と十分協議するよう、県からもしっかりと申入れていただきたい。

地区計画を活用

再質問

滝田議員　地域の実情に応じたまちづくりを進めていくため、地区計画を活用することについて、県はどう考えているか。

都市整備局長　地区計画は街区単位できめ細やかな市街地像を実現していくための制度で、地域の実情に応じたまちづくりに有効な手段と考えており、国も同様の見解であると聞いております。

印旛児童相談所　来春、開設へ

牧の原に、120名の専門人材配置

NT牧の原の県有地に建設が進む児童相談所。建物は12月末完成予定

印旛地区最大の県出先機関

滝田議員　印旛児童相談所の開設に当たり、職員はどの程度必要なのか。また、職員の確保・定着に向けてどのように取り組んでいるのか。

健康福祉部長　令和８年４月頃に開所見込みの印旛児童相談所は、現在の中央児童相談所の管轄区域を分割して所管する施設として、職員総数で１２０名程度を予定しており、一時保護所を新たに設けることなどから職員を増員する必要があります。

県では今年度、児童指導員について、新たに早期枠試験を実施したほか、保育士についても従来の９月に加え６月にも試験を実施するなど、採用者数の確保を図っています。

また、職員の定着に向け、入庁３年目までの職員が先輩職員にマンツーマンで気軽に相談できるブラザー・シスター制度の運用や、専門職の仕事上の悩みなどに応じる相談窓口を本年７月から設置することなどにより、安心して働ける職場環境づくりに努めています。

こうした取組により、新設する印旛児童相談所が業務を円滑に実施できる体制を整備してまいります。

都心直結線の実現へ　国策事業化を要望!!

滝田議員　都心直結線など、成田空港と都心を結ぶ鉄道アクセスの強化に向けて、県としてどのように取り組んでいくのか。

知事　成田空港の第３滑走路の供用開始等に伴い、空港利用者の大幅な増加が見込まれる中、空港の鉄道アクセスの強化が喫緊の課題となっていることから、県では、国に対し、関係者が協議する場を早期に設置するよう求めてまいりました。

その結果、昨年９月には、国により空港会社や鉄道事業者、自治体などで構成する検討会が立ち上げられ、本年６月に公表された中間とりまとめでは、空港周辺の単線区間の解消や都心とのアクセス向上などの課題について、更に検討を進めていくこととされています。

県としては、成田空港がグローバルハブ空港としての役割を一層発揮するためにも、都心直結線を含む、空港と都心を結ぶ鉄道アクセスの強化は、国策として早期に実現されるべきものと考えており、検討会の場や国への要望など、様々な機会を捉えて、強く求めています。

要望

滝田議員　都心直結線は、非常に大規模な投資事業であり、整備区間となる東京都の協力も必要である。こうしたことを踏まえると、県ではなく、国が音頭を取らなければ、物事は進まないと思う。

都心直結線をはじめとする鉄道アクセスの強化が、県として、最重要の課題であり、都心から遠いと言われ続けた成田空港の悲願でもある。

国策として早期に整備を進めるべきであるということを、熊谷知事から国に対し、裂帛の気合をもって強く申し入れることをお願いする。

千葉北西連絡道路具体化へ　住民らの意見聴取

滝田議員　千葉北西連絡道路の取組状況はどうか。

県土整備部長　千葉北西連絡道路は、国道16号などの交通円滑化や、県内外の交流・連携を強化し、企業の集積、産業の活性化を図るとともに、災害時における多重性・代替性を確保する重要な道路です。

本年７月までに、国や沿線市と連携し、地域住民や企業などへの情報発信や意見聴取などのコミュニケーション活動を実施し、約１８００件の意見をいただいたところです。

現在、国において、意見の取りまとめを行っており、先行して自由記述の一覧が公表され、その中では、県北西部における幹線道路の不足による国道16号への交通集中や、災害時における代替ルートの不足などへの早急な課題の解決を求める意見が多くだされているところです。

引き続き、沿線市と連携し、計画の早期具体化に向け、国に積極的に働きかけるとともに、人口が集中し、渋滞が深刻化している県北西部の道路整備を加速してまいります。

要望

滝田議員　千葉北西連絡道路について、国や沿線市と連携し、早期に計画の具体化が図られるよう取り組むことを要望する。

たきた敏幸・PROFILE

- 1960年　印旛郡印西町大森生まれ　印西中、県立我孫子高校卒
- 1982年　同志社大学卒業
- 1999年　印西市議2期
- 2007年　千葉県議5期
- 2008年　印西市消防団副団長
- 2010年　千葉県ラグビー協会長
- 2013年　総務防災常任委員長
- 2016年　農林水産常任委員長
- 2021年　千葉県監査委員
- 2022年　自民党県連政調会長
- 2024年　千葉県議会議長